

Information

・情報お待ちしています・

告知したいイベント、セミナーなど編集室にお寄せください。
開催日の約2か月前にファクス、郵送、e-mailなどでお送りいただけると幸いです。
〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 医学書院「助産雑誌」編集室
FAX 03-5804-0485 E-mail josan@igaku-shoin.co.jp

『Mother いのちが 生まれる』 宮崎雅子写真展

●日時

4月15日(月)～16日(火) 10:00～19:00

※「作品を語るナビゲーションタイム」

両日共に①14:00～14:30、②18:00～18:30(予定)

●会場

文京区シビックセンター1階 ギャラリーシビック・展示室1B
(東京都文京区春日1-16-21)

●後援

文京区

●内容

写真集『Mother いのちが生まれる』を中心に写真を展示します。

●入場料

無料

●問い合わせ先

医学書院「助産雑誌」編集室

TEL 03-3817-5773

E-mail josan@igaku-shoin.co.jp

第14回母乳育児支援を 学ぶ北陸教室 ～Let's skill up あなたの母乳育児支援～

●日時

4月30日(火) 9:45～16:30

●会場

金沢大学医学部 十全講堂
(石川県金沢市宝町13-1)

●プログラム

「母乳育児が結ぶ母と子の絆—最新のEBMから」 和田友香(新生児科医・IBCLC)

「新生児がリードする授乳—リクライニング授乳」 井村真澄(助産師・IBCLC)

「出産直後からの母乳育児支援—分娩室から母子同室への援助」 栗野雅代(助産師・IBCLC)

「出産後の48時間乗り切るケアのポイント」 水島香苗(助産師・IBCLC)

「乳腺炎—日本助産師会母乳育児支援業務基準『乳腺炎』を使って」 武市洋美(助産師・BCLC)
※詳細は下記第27回日本助産学会ホームページを参照。

URL <http://jam2013.w3.kanazawa-u.ac.jp/program.html>

●継続教育単位

5.0L-CERPs

●参加費

事前振込 4500円

当日参加 5500円

学生 2000円(事前申し込み不要。
当日学生証を提示し、参加費支払い)

●申し込み方法

メールまたはFAXで、件名を「第14回学習会申し込み」として4月19日までに申し込む。

氏名(必ずふりがな、ローマ字表記を併記)、住所、電話番号、FAX番号、メールアドレス、勤務先、職種を記入(代表で複数名申し込みの場合も、お1人ずつの情報に記載)のこと。

●有料託児

お子様1人につき3000円(4月5日までに要申し込み)

●申し込み・問い合わせ先

担当: 乙崎、杉井

E-mail hokurikubonyuu@yahoo.co.jp

FAX 0765-74-0428

参加型マタニティクラス 講師塾

●日時

ベーシックコース: 6月13日・9月19日・12月5日(いずれも木)
10:00～17:00

アドバンスコース: 6月14日・9月20日・12月6日(いずれも金)
10:00～18:00

●会場

バースセンス研究所
(東京都渋谷区西原3-17-15)

●対象

助産師、保健師、看護師の方で、マタニティクラスを実際に開講しているか、これから開講予定の方。

●定員

各 12 名

【ベーシックコース：参加型クラスとは？～運営の基礎】

●参加費

1 万 8000 円

●内容

「マタニティクラス最新事情」「参加型マタニティクラスとは 理論」「参加型マタニティクラスの企画構成の基礎」「明日から使える！実践研修！参加型オープニングと参加者紹介法」ほか
※受講料には、配布資料とテキスト代が含まれています。

【アドバンスコース：参加型クラス講師のファシリテーション力を高める】

●参加費

2 万円

●内容

「参加型クラスの企画法、クラスメニュー作り」「参加型クラス運営法①」「参加型クラス運営法②」「参加型クラスメニュー①上級編」「参加型クラスメニュー②上級編」

●申し込み方法

(各コース共通)

下記ウェブサイトよりショッピングカートをご利用ください。

URL <http://birth-sense.shop-pro.jp/>
(携帯対応)

パソコンをお持ちでない方は、氏名、住所、連絡先電話番号、FAX 番号、職業、勤務先、生年月日、希望講座名と開催日を明記して FAX でお申込みください。空席を確認し、折り返し連絡をいたします。

●申し込み・問い合わせ先

バースセンス研究所クラス受付担当

☎ 03-5738-6551

FAX 03-5738-6552

✉ class@birth-sense.com

第 14 回 日本赤十字看護学会 学術集会

●日時

6 月 22 日(土)～23 日(日)

●会場

日本赤十字秋田看護大学(秋田県秋田市上北手猿田字苗代沢 17-3)

●テーマ

これからの災害看護—東日本大震災と赤十字救援活動

●プログラム

会長講演「明治三陸大津波と日赤看護婦養成との関連」細越幸子(日本赤十字秋田看護大学教授)／基調講演「自然災害(地震・津波)と日本列島の状況について」野越三雄(秋田大学地域創生センター地域防災アドバイザー)／特別講演「石巻医療圏における東日本大震災への対応」石井正(東北大学病院地域医療教育支援部教授)／教育講演「進化する災害看護教育」小原真理子(日本赤十字看護大学教授)／シンポジウム／ワークショップほか

●参加費

(5/24 まで)会員 7000 円、非会員 8000 円、大学院生 3000 円

(当日)会員 8000 円、非会員 9000 円、大学院生 3000 円

※学生無料

●問い合わせ先

事務局(日本赤十字秋田看護大学内)

〒010-1493 秋田県秋田市上北手猿田字苗代沢 17-3

☎ 018-829-3013

FAX 018-829-3030

✉ l4co-jrcsn@rcakita.ac.jp

URL <http://www.akita-nursl4th.jp/>

第 15 回 日本母性看護学会 学術集会

●日時

7 月 6 日(土)～7 日(日)

●会場

東北大学 川内北キャンパス
(宮城県仙台市青葉区川内 41)

●メインテーマ

母性看護学の洗練—家族・父親・夫とともに

●プログラム

理事長講演「一般社団法人化からの出発—母性看護学会の将来像」森恵美(日本母性看護学会理事長)／基調講演「母性看護学の変遷」前原澄子(京都橘大学)／会長講演「母性看護学の洗練—家族・父親・夫とともに」吉沢豊予子(東北大学)／特別講演「文化人類学とジェンダーの視点から父親を考える」沼崎一郎(東北大学大学院文学研究科)／シンポジウム「母性看護学で父親・男性ケアをどう考えるか」／ナーシングサイエンスカフェ(中・高校生対象)／教育講演、一般演題ほか

●参加費

(5/17 まで)会員 6000 円、非会員 7000 円、学部学生 2,000 円

(当日)会員 7000 円、非会員 8000 円、学部学生 2000 円

※昼食別途予約制 1000 円

●問い合わせ先

事務局(東北大学大学院医学系研究科ウィメンズヘルス看護学分野内)

〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1

☎/FAX 022-717-7915

✉ jsmn2013@womens.med.tohoku.ac.jp

URL <http://l5.bosei.org/>